

契 約 変 更 理 由 書

神 戸 市

工 事 名	東垂水中層送水管更新工事
<p>契約変更後の概要</p> <p>工事概要：〈PIP〉φ900→φ800-1069.7m 〈布設〉鋼管：φ600-8.2m, φ800-20.5m, φ1000-0.9m 鋳鉄管：φ150-69.5m, φ200-42.4m, φ300-2.7m, φ600-36.8m 〈撤去〉鋼管：φ900-19.4m, φ1000-1.9m, 鋳鉄管：φ150-49.5m, φ200-53.8m</p>	
<p>契約変更の理由</p> <p>①既設管内面塗装のはつり 既設管の布設年度から、使用されていることが想定されていなかったコールタールが、既設管内面に使用されていたことが判明した。可燃性塗料であるコールタールは、溶接作業にて有害ガス発生や引火のおそれがあることから、塗装全面を人力作業にてはつる作業の追加が生じる。</p> <p>②No.5'立坑築造に伴う土留工法の変更 当初設計の掘削深は 2.98mを想定していたため、3.50mまでの施工が可能な軽量鋼矢板での立坑築造を計画していた。しかしながら、想定よりも深い位置に既設管が埋設されており、4.20mの掘削が必要となり、軽量鋼矢板での施工が不可となったため、ライナープレートによる土留工法への変更が生じる。</p> <p>③No.10 立坑築造に伴う土留工法の変更 NEXCO 西日本との設計協議時に、立坑築造位置には存在しないと回答があった光ケーブルが、施工前協議時に占用していることが分かり、立坑位置の変更が生じた。また、変更後の当該位置には雨水幹線が占用しており、当初予定していた鋼矢板の圧入ができないため、ライナープレートによる土留工法への変更が生じる。</p> <p>④常時排水設備の設置について 地下水が当初想定していた深さより浅い位置から湧き出て、立坑内へ流入したことにより、作業環境確保が困難となったため、常設排水ポンプ運転・設置撤去が生じた。</p> <p>⑤交通誘導警備員と規制車について 所管警察署・NEXCO西日本・バス会社との協議により、交通誘導警備員・道路規制車の追加配置及び夜間施工の発生に伴う追加配置が生じた。</p>	